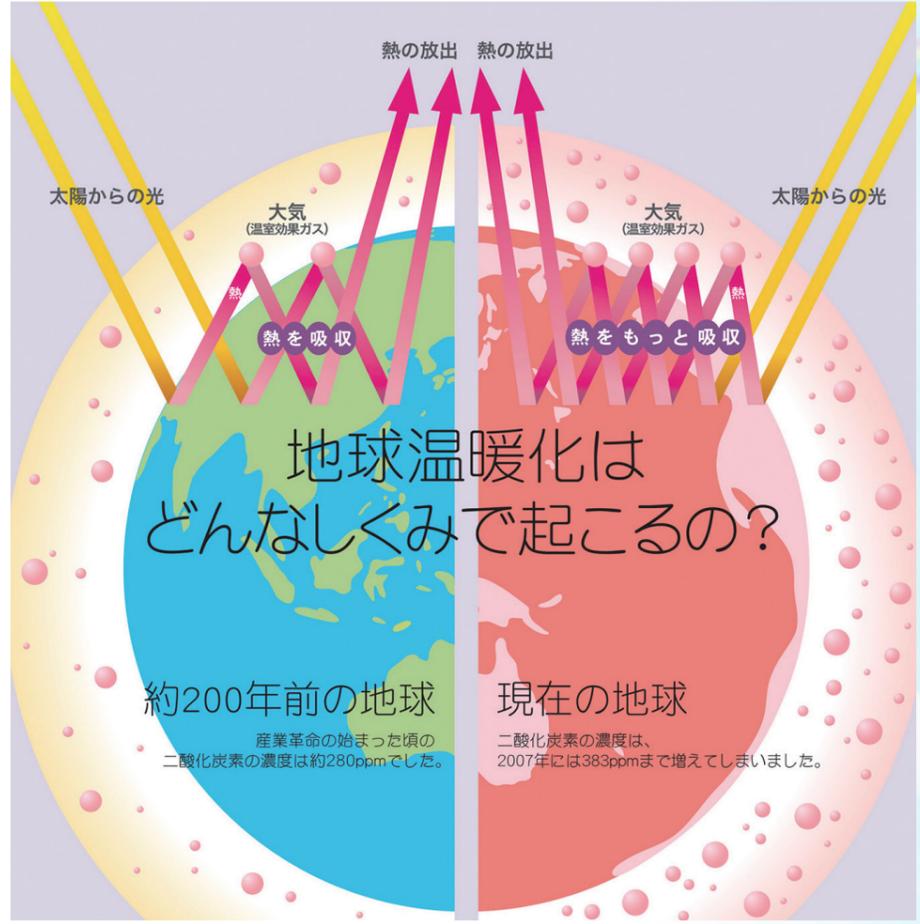




# 12月は地球温暖化防止月間です



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)より

## 地球温暖化の仕組み

地球に届く太陽からの光は地表を温めます。温められた地表からは熱が放出され、宇宙に出ていきます。大気中の温室効果ガスと呼ばれる気体は、この出ていく熱の一部を吸収することにより、地球を「温室」のように暖かく保ってくれています。

ところが今、このガスが増え過ぎて、大気中に熱がこもり、地球全体の平均気温が上昇してきています。これが「地球温暖化」の仕組みです。

## 温室効果ガスとは

温室効果ガスは、赤外線を吸収する気体で、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン、一酸化二窒素、フロン類などです。

現在の地球の平均気温は14℃くらいですが、もしこれらのガスが存在しなければ、平均気温はマイナス19℃まで下がる

といわれています。寒くても人間は生きていけません。

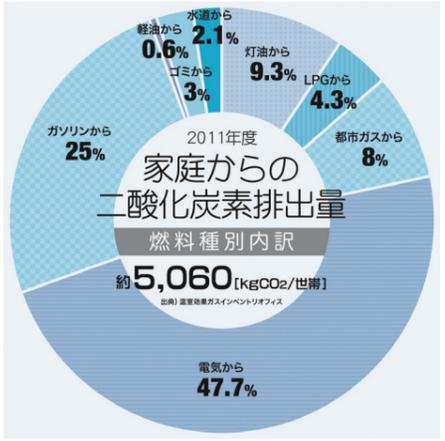
地球温暖化の原因となる温室効果ガスですが、地球に住む生き物にとっては必要不可欠なものなのです。

## 地球温暖化の影響

温暖化により、氷河が溶けて海水の量が増え、海面からの高さの低い島国などが海に沈んでしまつ心配や、これまで熱帯地方でしか生きられなかった病原菌や害虫などが日本のような温帯地方にも移ってきて、人間に病気を引き起こしたり、農作物の生育を妨げたりする恐れが広がると考えられています。

## 家庭からも生み出されるCO<sub>2</sub>

温室効果ガスのうち、最も影響が大きいのがCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)で、主に化石燃料を燃やすことで発生します。私たちの暮らしに欠かせない石油、電



出典：温室効果ガスインベントリオフィス

## 冬場も節電のご協力を

市民および事業者の皆さまの節電のご協力により、夏場の電力不足はありませんでした。ご協力ありがとうございました。

しかしながら、今冬の電力需給(電力の供給量と使用量)も依然として厳しい状況が見込まれています。今冬も市民および事業者の皆さまの節電のご協力をお願いいたします。

節電が必要とされる期間は、**※12月2日(月)～3月31日(月)の平日(8時～21時)**です。市民生活、事業活動などに支障のない範囲において、昨冬相当の節電をお願いします。

※12月29日から1月3日を除く

## 実践してみよう！冬場の節電例

### 節電アクション①「重ね着」

重ね着で体感温度を上げて、暖房器具の無駄な使用を減らそう。

### 節電アクション②「家族団らんと」

家族みんなで、一緒に過ごして無駄な電気や暖房器具の使用を減らそう。



## でんき予報

\*ご家庭での節電の取り組みなどありましたら、情報をお寄せください。

九州電力㈱のホームページで、本日・明日・週間のでんき予報により、需給状況に関する情報提供を行っています。

また、需給状況が厳しくなると予想される場合に、節電などのご協力をメールでお知らせする登録も呼びかけています。

▼携帯版 <http://kyuden.jp/>  
▼パソコン版 <http://www.kyuden.co.jp>

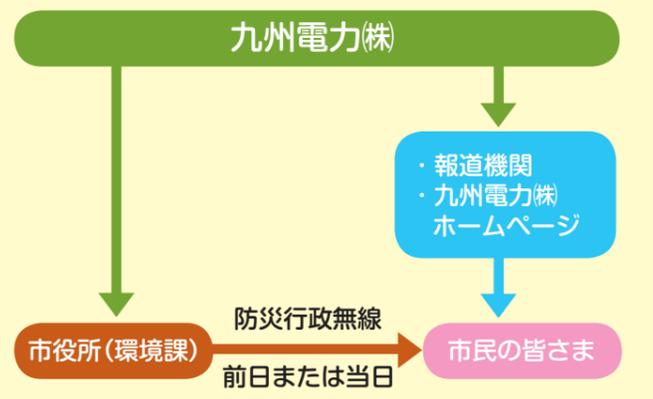
市の施設においても、引き続き節電の取り組みを続けます。

市民の皆さまも、できることから、節電の取り組みを継続し、地球温暖化防止にも役立てましょう。

政府の節電ポータルサイト (<http://setsuden.go.jp/>)も参照ください。

\*節電に取り組む際の体調管理には十分注意しましょう。

## 電力不足が予想される場合は 事前にお知らせします



- ①木曜日の午後に翌週(土曜日～金曜日)の電力不足が予想される場合は、九州電力㈱から市(環境課)へ事前連絡があります。
- ②電力不足が予想される前日に、最終連絡が市(環境課)にあります。
- ③連絡を受けた場合は、防災行政無線で市民の皆さまにお知らせし、協力をお願いします。
- ④当日、急きょ、節電が必要となった場合にも、防災行政無線で協力をお願いします。